## (6) ふれるまちづくりを進めます。 いては、子どもたちの笑顔があ 「すこやか・はぐくみ」につ ームの開設 など T.

型」の認定こども園や民間保育 **所分園など3園を開設します。** ましたが、4月には「幼保連携 育所分園や保育ルームを開設し 月に賃貸物件を活用した民間保 児童の解消に向けては、本年1 また、特に待機児童が多い3 喫緊の課題である保育所待機

年4月に比べ、計240名分の さまざまな取り組みにより、昨 児童解消計画」に基づいて民間 くために、「西宮市保育所待機 スを活用することで、保育ルー おける用途変更が可能なスペー 正員増となります。 ため、<br />
市営住宅や<br />
小学校などに 410カ所を開設します。 これら う測される保育需要に応えてい 新年度には、今後とも増加が

果に基づき、鳴尾東保育所の建

て替えに向けた設計に取り組み

- については、待機児童解消の

留守家庭児童育成センタ

育所については、耐震診断の結

業を新たに開始します。公立保

の会議室を利用し、病児保育事

また、旧中央病院院内保育所

24年度には、さらに529名の 保育所の新設整備を進め、平成 定員増が図れるよう<br />
取り組んで および保育のあり方について センターを整備します。 小学校就学前の子どもの教育 「西宮市幼児期の教育・保 高木小学校内に第2育成

うるおい

生物多様性地域戦略の策定

など

待機児童の解消に引き続き取り組みます 支給を行います。

実施手法の検討を開始します。 めるほか、小・中学校の普通教室 校園への洋式トイレの設置を進 工事に取り組むとともに、各学 校として夙川小学校の校舎改築 めていきます。また、環境モデル 計画」の目標達成に向け、新た 人を図り、効率的・効果的に進 にPFI手法など民間活力の導 への空調設備の整備に向け、 西宮市立学校施設耐震化推進 教育環境の整備については、

歳未満児の受け入れを確保する

·きます。

利用を行いながら、引き続き地 域とともに活用策の検討を進め すが、地域活性化に向けた暫定 ざまな課題の整理を行っていま 廃校後の船坂小学校について 建物の老朽化対策などさま

育審議会」で調査・審議をしてい 学校修了までの子どもを対象に す。とりわけ、幼稚園における に向けた検討を継続していきま の適正配置などの諸問題の解決 いては、国の基準に合わせ、 励金を新年度から段階的に増額 については、私立幼稚園就園奨 保護者負担の公私間格差の是正 ただいており、子育て支援施設 していきます。子ども手当につ

別養護老人ホームの入所待機者 設や、室川町と上大市4丁目の 解消に向け、枝川町の大規模施 します。 うほか、既存の認知症高齢者グ ループホーム等がスプリンクラ (の施設整備について補助を行 規模施設の計3カ所、214 を設置する費用について助成 局齢者の福祉については、特

得て、65歳以上の高齢者の実態 よう、データベースのシステム れを効率よく管理・活用できる 把握調査を実施しています。こ 民生委員・児童委員の協力を

賃の増額を図るため、福祉的就 するほか、作業所で働く人の工 援するコーディネーターを配置 障害のある人の福祉について 施設入所者の地域移行を支

開できるよう準備を進めていき せ、平成25年から蒸気供給を再 費相当分を負担するほか、東部 総合処理センターの稼動に合わ

容器包装リサイクル法に基づ

の修景整備や駅北西口のエスカ り整備事業については、津門川 -ター整備などに取り組みま

## 総合療育センター整備への 取り組み

いては、みんなが安心して暮ら せる安全なまちづくりを進めま あんしん・あんぜん」につ

みます。

改修を行います。

労支援員を配置し、製作する商

進を図っていきます

また、太陽光発電システム等

を策定するなど、環境学習の推

図っていきます。 みを進め、循環型社会の形成を 包装の再資源化に向けた取り組 き、その他プラスチック製容器

事業者とともに緑ゆたかなまち

りを進めます。 な美しいまちづく は、水と緑ゆたか

う、老朽化した遊具の更新など が安全に安心して利用できるよ のできない公園について、誰も いてき」について

「うるおい・か

を進めていきます。

市民生活にとって欠かすこと

き補助を行い、地球温暖化対策 を設置する住宅に対し、引き続

市民·

多様性地域戦略.

市に代わって支出してきた工事

ルドに対し、過去に同社が

づくりを進めます

引き継いでいくた

から、株式会社鳴尾ウォーター 要な健康増進の拠点であること

「リゾ鳴尾浜」は、市民の重

「西宮市生物

い状態で次世代へ 然環境を、より良 本市の豊かな自

西宮北口駅北西地区まちづく

品の販売先の開拓などを行いま

保健師や保育士などの人員体制

想の策定・施設の設計に取り組 するため、「総合寮育センタ する障害児の療育ニーズに対応 の老朽化対策等と併せ、多様化 「わかば園」については、施設 」として移転整備することと また、肢体不自由児通園施設 用地の確保、および基本構

の権利擁護の相談・助言・法的 支援センターを4月に開設しま 支援などを行うため、権利擁護 また、高齢者や障害のある人

がる・支えるいのち」をテー 殺予防のために「気づく・つな 数は連続して3万人を超えてい 市介護保険事業計画」および も、国の自殺対策に基づき、自 ます。このため、本市において いては、次期計画を策定します。 として普及啓発事業や人材養成 西宮市障害福祉推進計画」につ 平成10年以降、全国の自殺者 西宮市高齢者福祉計画•西宮

事業を引き続き実施します。 した健康診査の強化を図るた 待予防や育児不安軽減を目的と 母子保健事業については、 乳幼児健康診査において、

> なるウイルスの抗体検査を追加 て、成人T細胞白血病の原因と し、費用助成の増額を行い また、妊婦健康診査につい 予防接種の促進については

接種者への対応を図るほか、子 国が日本脳炎予防接種の積極的 進するため、国の交付金を活用 球菌ワクチンの各予防接種を促 ン、ヒブワクチン、小児用肺炎 宮頸(けい)がん予防ワクチ な勧奨を再開したことに伴い こて、引き続き費用助成を行い

成20年度から3年間、

の抑制と低所 からの繰入れ

得世帯に対する減

めていきます。 や費用助成の申請受付業務等も 室を保健福祉センターとし、 行い、市民サービスの向上に努 の4カ所の保健福祉センターと 同様に、精神・難病関係の相談 また、塩瀬センター健康相談

まとめていきます。 あり方を議論しているところで 移転・建て替えも視野に入れな す。経営の健全化にも留意しつ 要とされる公立病院の具体的な つ、方向性について早急に取り 中央病院については、 本市の医療環境の中で必 、施設の

子育て世帯を支援していきま 中学3年生までの医療費無料 昨年7月から実施している



地域の保健福祉センターを拠点に、 健診や相談などの充実を図ります

老朽化した消防分団車庫の改築 す。また、消防庁舎の耐震化や 報システムなどを更新整備する めていきます を行うなど、消防力の充実に努 ジタル化への とともに、消防・救急無線のデ 消防につい ては、消防緊急情 移行に着手しま

の長寿命化を図っていきます。 良工事に着手するほか、阪急西 地下道などの改良工事を進める 道路の整備、 に、市役所前線などの都市計画 阪神本線連続 場の再整備の はか、計画的な修繕による橋梁 塩道路の整備 呂北口駅等での自転車駐車場整 さらに、JR西宮名塩駅前広 小曽根線の自転車通行帯の改 都市施設の整備については、 JR甲子園口横断 ための調査・設計 促進を図るととも 立体交差事業や名

甲子園駅の改善事業について 備に取り組ん バリアフリ でいきます。 化を含めた阪神

、 険については、 平 災害に強い安全・安心のまちづくり

できるよう取り組むとともに、

び周辺住民が安全で快適に利用 事業促進を図り、駅利用者およ は、鉄道事業者への支援により

駅前のにぎわいづくりについて

により、保険料率 一般会計 性などを調査・検討していきま

公共交通について、導入の可能 策が求められていることから、 交通不便地域が点在し、その対 す。高齢化が進展する中で公共 も関係機関と協議していきま

水道については、大口需要者の 極めながら、今後の経営のあり 給していきます。また、工業用 を進め、安全な水を安定して供 るとともに、配水施設の耐震化 伴う浄水場施設の統廃合を進め 道企業団からの受水量の増量に 道ビジョン」に基づき、阪神水 万について検討していきます。 撤退に伴う財政への影響等を見 上水道については、「西宮市水

を図っていきます。

災害・危機

に強いまちづくり

度においても保険料負担の軽減 免を実施してきましたが、23年

組みを進めていきます。 画的な改築更新を図るととも や水環境保全の推進と併せ、計 向け調整を行っていきます。 ついては、具体的な課題解決に また、上下水道の組織統合に 下水道については、浸水対策 効率的な経営改善への取り

アスベスト等が施工されている 民間建築物に対し、含有調査や ミナーやワークショップを開催 策を検討するため、高経年マン 家、マンションの空室などの対 のみや住宅マスタープラン」に 除去等にかかる経費の助成を行 していきます。また、吹きつけ 市民やNPOなどが参加するセ ションの実態調査を行うほか、 課題である入居者の高齢化や空 基づき、今後の住宅政策の重点 今年度中に改定予定の「にし

き、甲子園九番町団地等の建て 替えに取り組んでいきます。 市営住宅については、引き続 っていきます。

いきます。

防犯灯の効率

的な管理を進めて

す。また、市内に約2万基ある 無線機をデジタル式に更新しま 信機能を確保するため、MCA

に向けては、

災害時における通